

③ 特例教科、キャリア・地域（体験）活動の再構築  
《特例教科の授業時数》

区分	1st				2nd				3rd	
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	
特例教科	英会話	20	20	20	20	35	35	35	35	35
	うぶやま学	34	35	45	45	45	45	45	45	45
	チャレンジ学習	—	—	25	25	25	25	25	25	25

## 《教科横断的な指導による資質・能力の育成》

- ・地域を基盤とした創造的な思考力の育成  
(主に「学ぶ力」)
  - ・グローバル化に対応したコミュニケーション力の育成  
(主に「未来を拓く力」)
  - ・自律的な学びを支えるリテラシー・スキルの育成  
(主に「考える力」)
- 
- 【うぶやま学】  
【生活科・社会科】  
【英会話科】  
【英語科】  
【チャレンジ学習】  
【国語科】

○教科等の枠組みを超えて教科横断的な視点で育成を目指す資質・能力の育成  
(「学習の基盤となる資質・能力」「現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力」)

## 成果と課題

- 「カリキュラムの基本的な考え方（ステージ指導の概要）」による教育活動を展開したことでの、学習や生活の基本的な力が身に付きつつある。
- 教科担任制・TT指導の充実、「授業のUD化」により、各教科等の見方・考え方を重視した授業づくりの意識が高まった。
- 特例教科、キャリア・地域（体験）活動の充実が図られた。また、これまで見落とされていた子供による多様な異学年交流ができた。
- 学習指導要領の全面実施をひかえ、プログラミング教育や特例教科「英会話」のカリキュラムでの位置づけを検討する必要がある。
- 「授業のUD化」の実践課題の解決を図りたい。特に、教科等の見方・考え方や単元ゴールの子供の姿を明示した学習指導（構想）案について検討を行う必要がある。